

24 工場・作業場

【関連章第7章7】

事例 「工場から出火した火災」

出火時分 12月 10時ごろ

用途等 工場 木造2/0 延1,000 m²

防火管理 非該当

被害状況 建物全焼4棟、建物半焼1棟、建物部分焼6棟、建物ぼや5棟 計16棟 1,900 m²
等焼損 傷者1名

概要

この火災は、工場から出火したものです。

出火原因は、工場内の水石鹼配合室付近から何らかの要因で出火したものです。

従業員は工場敷地内で作業をしていたところ、水石鹼配合室の上部で白い煙のようなものを発見しました。

火災発見後、付近にいた同僚に火災を知らせ協力して消火器で協力して消火しようとしたしましたが、火勢が強く消火できませんでした。

社長は工場敷地に隣接する事務所棟にいたところ従業員から火災の報告を受け工場に向かいました。確認すると、水石鹼配合室の上部が燃えていたため、自身の携帯電話で119番通報しました。

教訓等

工場や作業場では、危険物類に該当する物品や化学薬品等を扱うことがあり、火の手が上がってしまうと急激に火勢が増してしまうこともあります。従業員は火災が発生すれば、火勢が熾烈になる環境で作業していることを常に意識しなければなりません。未然に火災が発生させない対策を考えるとともに、延焼拡大させないために、消防用設備等を有効に活用できる体制を事前に構築しておくことも大切です。



写真 24-1 周囲の建物への延焼状況



写真 24-2 敷地内の焼損状況